



KOGADO
Illustration Products

探偵団屋スタジオ
TEL:03-3442-1111 FAX:03-3442-1112
E:info@kogado.com URL:www.kogado.com
〒108-8501 東京都港区赤坂2-1-11 探偵団屋スタジオ

状況開始っ!
じょうきょうかいっ!

四季報



鉦浦通信

第101号
(通刊4464951号)

SHOP
OMNI

「探偵団屋」6月号に登場した
「キラー」の衣装が、リアルな
「1-1」の衣装に似ている。



www.kogado.com

実機演習、機甲科暴走!!



去る八月八日、当校鉦浦予科練内演習場にて行われた今期最初の機甲科一種隊演習。演習において、機甲科一種隊三年度生が搭乗する九式主力戦車が、見物していた科生たちに向かい、120mm主砲をブツ放すという事件が発生した。

事件を起したのは、二年度青江科生が車長を務める機甲科一種隊第二訓練分隊。当日砲手の体調がすぐれなかったため、連続射撃を外し、見物の科生の連発の無い罵声を浴びていたところ、キレた青江科生が見物席への砲撃を指示したという。

幸い砲手はこれも外し、ため、見物席に近づきませず、被害は射線の先にあつた校舎の壊滅的打撃程度で済んだ。

また破壊されていた弾種は成形弾であったことが判明した。これが機銃射撃や簡付翼安定弾であったら、狙いが外れていても大離された装弾筒が見物席に甚大な被害をもたらしたとみであらう。

青江科生は、腰を抜かした見学者をあざ笑っていたところを、示された上で、取り押さえられ連行された。

実機演習は、一年次に砲火を実体験させるためと

言う名目で機銃の訓練も休みになり、演習の少ない鉦浦では、ちよつとしたお祭りになる。そのため見物する他科科生からの度過ぎた野次が飛ばされ、それが元で喧嘩が起きたことは毎回あり、今回のような機甲科の反撃は過去、〇年間で八度目。

この事件を受す国防隊車庁会計局から「暴走しがちな鉦浦に実兵器を使わせるのはやはり危険だ。また修繕費がかさむ」と今回も抗議が殺到し、予科練教導隊からは当校鉦浦予科練には設立の理念に「実戦的な人材の育成」が織り込まれているため、あんなに近しい目標を何で外している!この標を何で外し!とお叱りを受け、市民団体からは予科練が実兵器を使用した訓練を行うことに対して「一端も行かない少女少女に実兵器を使用させるのは危険である」との筆名の抗議があり、今回の事件については、それとは別にあの戦争バカどろに実兵器を使わせるのは牛〇ガイヤになんとかだ」と猛反発を繰り返しているのを見られることは全くもって遺憾である。

そもそも事件がそれ自体より、科生に被害が出なくて良かった、という意見が全く無かったことが問題だろう。

なお壊滅的打撃を受けた校舎はいつでもおり整備科

が実質工事まで済してしまい、翌日から座学授業にも全く影響がなく、科生全員を激しく落胆させることになった。

問題を起した機甲科一種第一訓練分隊の三名には翌日、減俸五割三ヶ月と演習場深部での無装束サバイバル二週間という処罰が下された。来年の行軍演習中に白骨で発見されるような事態にならないよう頑張っていた方がいいのである。

残念なことには本紙記者は当日、機甲科一種の実機演習と同時に行われた普通科一種・機甲科二種合同の友誼演習の山奥で、目標までの距離を測ったり、着弾距離を測ったり、無線で「ハズレたこの下手クソ!」「エエ××××ついでんのか!」「××××野郎!!」などと報告したりと大忙しであったため、事件の現場に立ち会ったことはかなわなかった。

なお支援砲撃演習は、砲撃から着弾までの時間がかなり長くなるので、先に、さらさらに着弾までの間、前哨ダグマドもが着弾音のチャイムを鳴らして大変気味が悪く、生怪しいな、誰も見物する科生がいなかったことこそ、在籍番号順に観測員を決定した担当教官の姿すらなかったのは、実機演習の事故よりも問題ではないだろうか。

(記者：井上 普通科一種 三年次)

状況開始っ!
二〇〇五年十一月二八日
発売開始